

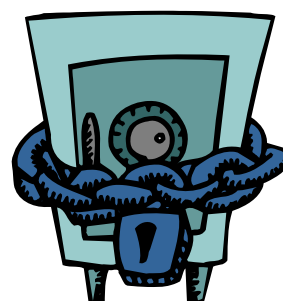
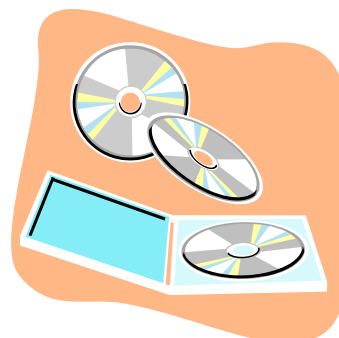
## マイクロフィルム



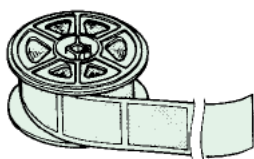
アーカイブズ組織による収集・保存の対象となる記録史料には、さまざまな形態や媒体があります。よく知られている形態としては文字・音声・映像などがあり、近年においては従来の形態区分をこえた電子記録が急速に増加しつつあります。記録媒体という点からみても、古くは粘土・石・木などの媒体から、紙・フィルムや電磁媒体（アナログ情報向けの磁気テープ、デジタル情報向けの磁気ディスク）など多様なものがあります。こうした多種多様な形態・媒体からなる記録史料のうち、今回はマイクロフィルムについて取り上げます。

マイクロフィルムとは、書籍・新聞・文書・設計図面などの文字情報を縮小撮影したフィルムをいいますが、これはアーカイブズによる記録史料の複製化（代替化）という作業の産物という側面を持っています。通常の写真撮影で使うフィルムよりも高い解像度を持っているマイクロフィルムは、専用のカメラを利用することで小さな面積上に多くの情報を記録することができます（一般的な面積縮小率は 1/100 から 1/2500）。また、国際規格に基づいて作成・保存されるマイクロフィルムの寿命は 100 年から 500 年であるとされています。このため、文字情報が主体である記録史料をマイクロフィルムに撮影することによって、省スペース化と長期保存化を図ることができ、何よりも通常の資料閲覧などをマイクロ化資料を行うことによってオリジナル資料の利用頻度を下げて物理的な劣化・損傷を最小限に抑えることができます。

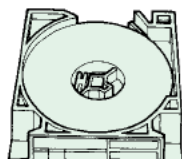
近代以降からの利用実績があるマイクロフィルムは、文書記録としての法的証拠能力も認知されており、デジタル情報が急速に普及して多様な記録媒体が存在する今日においても信頼性がきわめて高い複製物（代替物）であるといえます。



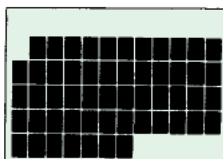
### 【マイクロフィルムの種類】



リール式



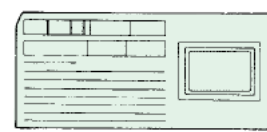
カートリッジ式



マイクロフィッシュ



フィルムジャケット



アパーチャカード

編集：愛知医科大学 大学文書室

<http://www.aichi-med-u.ac.jp/amua/index.html>

電話 0561(62)3311(代) 内線1265 / FAX 0561(62)4662 / Email: archives@aichi-med-u.ac.jp